

大阪市港区 まちづくりビジョン



**いちばん住みたいまち、
住んで誇りに思えるまち 港区**

平成28年7月
大阪市港区役所

【目 次】

第1章	区の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2章	区の特徴と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	1 少子高齢化と人口の減少傾向	
	2 地域コミュニティの活性化	
	3 まちの安全・安心の向上	
	4 まちのにぎわいづくり	
第3章	区の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
第4章	まちづくりの方向性・・・・・・・・・・	11
	1 区民主体のまちづくり	
	2 安全・安心・快適なまちづくり	
	3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	
	4 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまち づくり	
	5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり	
第5章	区民の意見を反映した区政運営・・・・・・・・	35

はじめに

平成24年8月から区役所がまちづくりを総合的に担うという新しい市政運営が本格的にスタートしました。港区では、平成25年3月にめざす5年後の姿（将来像）とその実現に向けた平成27年度末までのまちづくりの方向性を示す「港区将来ビジョン」を策定し、港区にふさわしい区民主体のまちづくりに取り組んでまいりました。

この「港区将来ビジョン」については、その進捗を踏まえて、今般、平成31年度末までのまちづくりの方向性を示す「港区まちづくりビジョン」として改定するとともに、ここに示す「区民主体のまちづくり」、「安全・安心・快適なまちづくり」、「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」、「『子どもの学び』と『子育て世代』を応援するまちづくり」、「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」の5つの施策を柱として今後の区政を積極的に推進してまいります。

今後、本格化する少子・高齢化社会の中で、子育て支援や高齢者の見守りなど身近な生活課題の解決に住民どうしが協力して取り組むためには、「つながり」や「きずな」による更に豊かな地域コミュニティが必要です。

そのためにも、歴史が育んだ「区民のつながりの強さ」という港区の「強み」を活かし、区政会議など区民の意見を反映する区政運営を横糸として、各小学校区の「地域活動協議会」を中心とした自律的な地域活動を縦糸として、横糸と縦糸が交わる強いネットワークで、引き続き港区にふさわしい安全・安心のまちづくりを進めます。

また、弁天町駅前土地区画整理記念事業として、現在の区民センター、老人福祉センター、子ども子育てプラザを廃止し、平成33年を目途に港図書館とともに一体的に再構築する（仮称）交流会館については、幅広い世代が出会い、活動し、交流が広がる「起点」となることで、港区に更に豊かなコミュニティを醸成し、将来にわたって活力とうるおいのあるまちづくりに貢献する施設となるよう、整備を進めます。

築港・天保山や大阪市中央体育館、八幡屋公園など、このまちが持つ多彩な文化的・歴史的資源や都市としてのランドマークなど、港区の「強み」を活かしたまちづくりを進め、まち魅力の創造や発信とともに、子育て支援や子どもの学ぶ力、生きる力の育成に重点を置いた取組を強化します。

この「港区まちづくりビジョン」を今後のまちづくりの方向性として区民の皆さんと共有し、「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区」を全力でめざしてまいります。

大阪市港区長 田 端 尚 伸